

社会資本総合整備計画                      社会資本整備総合交付金

令和03年03月01日

計画の名称	市街地開発事業による小田急相模原駅周辺のまちづくり													
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）											重点配分対象の該当		
交付対象	座間市													
計画の目標	市民の日常生活の拠点となる小田急小田原線小田急相模原駅周辺において、土地利用の促進や、都市型住宅の供給、公共公益施設、生活利便施設の集積による都市機能の拡充を図り、災害に強く、子育て世代や高齢者など、多様な市民が暮らしやすい市街地を形成する。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		465	A	465	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H29当初）	（H31末）	（R3末）
1	1号市街地（小田急相模原駅周辺地区、面積：約6ha）の建物不燃化率を80％（H28）から82％（H30）に増加 都市計画基礎調査等から建物不燃化率を集計	80%	%	82%
2	小田急相模原駅周辺地区の人口を15,253人（H28）から15,300人（H30）に増加 小田急相模原駅周辺地区（相模が丘1丁目、2丁目、3丁目及び5丁目）の人口を集計	15253人	人	15300人
3	相模が丘地区の交通事故発生件数を62件（H28）から58件（R3）に減少 相模が丘地区の交通事故発生件数を集計	62件	件	58件
4	座間市北部地域の道路整備の満足度を41.0％（H29）から50.0％（R3）に増加 アンケート調査により道路整備の満足度を集計	41%	%	50%
5	小田急相模原駅周辺住民の定住意識を56.6％（H26）から60.0％（R3）に増加 市民意識調査により小田急相模原駅周辺住民の定住意識を集計	57%	%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	座間市	間接	組合	-	-	小田急相模原駅前西地区 市街地再開発事業	商業、公益施設、住宅等、0.4ha	座間市						396		-
											小計						396		
都市再生整備計画事業	A10-002	都市再生	一般	座間市	直接	座間市	-	-	小田急相模原駅周辺地区 都市再生整備計画事業	道路の高質化、歩行者支援施設（EV）、5.3ha	座間市						69		-
											小計						69		
											合計						465		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31	R02	R03
配分額 (a)	122	134	8	4	0
計画別流用増 減額 (b)	0	0	7	0	0
交付額 (c=a+b)	122	134	1	4	0
前年度からの繰越額 (d)	0	117	41	0	0
支払済額 (e)	5	206	6	0	0
翌年度繰越額 (f)	117	41	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	41	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	4	36	4	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	17.92	85.71	100	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		事業の進捗に期間を要したため、事業の一部を廃止したため	地権者との交渉が難航したため		

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 市街地開発事業による小田急相模原駅周辺のまちづくり

[illegible]